

# Limit free monster

北海道

高校生ボランティア・アワード2024



テーマ  
**共生社会**  
です



start  
スタート



activity

これまでの活動

### ①片麻痺の方と定山溪旅行

障害を持った方と旅行に行くだけでなく、今後定山溪に来たいと思っている障がい者の方のハードルを少しでも下げ、実際に私達がめぐった場所の良かった点、悪かった点を障がい者の方の視点から見つけてもらい、それをまとめたバリアフリーマップを作成しました。旅費やマップの印刷費を集めるためクラウドファンディングも立ち上げ、沢山の方のご協力のおかげで目標金額を超える8万6千円を達成、旅行を決行することができました。当日は車椅子での果物狩りやピザ作り体験などを行いました。

### ②耳の聞こえない子ども達とバレーボール観戦

聴覚障がいを持った子ども達がスポーツに触れるきっかけを作りたい！という思いから札幌のプロバレーボールチームである北海道エロースターズさんに企画を持ち込んだところ快くご協力頂き、試合観戦だけでなくエスコートキッズ体験、選手との交流も行いました。自分達なりに手話を勉強したり、ジェスチャーを使いながら子ども達と楽しい時間を過ごすことが出来ました。耳の聞こえない子ども達と関わる上で聴覚障がいについても調べたところ、「デフリンピック」に出会いました。デフリンピックは聴覚障がいを持った方が参加する世界大会です。パラリンピックは知名度が上がっている一方、デフリンピックは知名度が低いのが現状です。少しでも多くの方にデフリンピックを知ってもらうため、会場で公式パンフレットの配布をさせて頂きました。

### ③スキー付き車椅子の紹介

車椅子の方にも冬の北海道を楽しんでもらいたい！という思いから、前輪にスキーの着いた雪道でも走りやすい車椅子の紹介動画を作成しました。

その他にも、町内会と協力して会館の外壁に「共生社会」をイメージしたイルミネーションの作成や、ローカルラジオ曲のFMアップルさんの「香るパラダイス」に出演させて頂いたりしました！

私達の通う藻岩高校には、高校2年時に「MSP」という探究の授業があります。

M 藻岩(moiwa)×南区(minami)とは  
S 笑顔(smile) ×持続可能(sustainable)  
P 計画(project)×人々が集まる場所(platform) の頭文字を取ったものです。藻岩高校のある南区がこれからも笑顔あふれる街であり続けるために、持続可能な街づくりに積極的に取り組んでいくことを目標としています。

そのMSPの時間で私達は、「障がい者支援×旅行」をテーマに活動を始めました。きっかけは、メンバーの1人が障がいの方とユニバーサルスタジオジャパンを楽しむというボランティアに参加したこと。年齢、職業、障がいの有無に関係なく全員で楽しむことが出来、とても充実感のある旅行になりました。障がい者の方を楽しませるだけでなく、自分も楽しめる。それが皆で目指すべき共生社会の形だと感じました。自分もこんなイベントを企画したい！と思うようになり、そこに障がいの方と関わることや旅行に興味を持った3人が集まり、Limit free monsterとして活動を始めました。

for the future

今後の展望



“誰もが”スポーツ観戦を楽しめるように！を目標にコンサドーレ札幌さんと応援グッズ制作イベントを企画中です。このイベントをきっかけに障がいを持った方、子どもからお年寄りまでスポーツをより身近に感じて貰えると嬉しいです。

耳が聞こえなくても、車椅子でも、少しのお手伝いで旅行もスポーツ観戦も楽しむことが出来ます。私達の活動を見て、困っている方に手を差し伸べることが出来る人が少しでも増えてくれることを願っています。

Limit free monster

市立札幌藻岩高等学校3年  
左から 加藤柚葉・有本寛菜・道下椋・増田結羽 です。  
“共生社会”を目指して活動しています。  
イメージキャラクターのリミフリくんです！



@msp\_\_limit\_free

